

公認大会規定 Ver2.3

■基本ルール

以下に記載されているルールに準拠します。

- ・『戦国大戦トレーディングカードゲーム 総合ルール』

■参加に必要なもの

- ・基本ルールに従って組まれたデッキを用意してください。
- ・大会参加中は、各プレイヤーは使用するデッキを変更できません。
- ・大会に参加するプレイヤーは、各自自分のデッキを用意しなければなりません
(※運営上、使用するデッキに含まれるカードを物理的に共有し、同一大会に参加することを禁じています)

■使用可能カード

禁止・制限の設定をされているカードを除く、販売・配布されている全ての戦国大戦 TCG のカードを使用することができます。

《新しいカードが使用可能になる解禁日について》

製品に封入されているカードは、「発売日」から公認大会で使用できます。

プロモーションカードは、各カードの「配布開始日」から公認大会で使用できます。

■禁止・制限カード

戦国大戦 TCG のすべての公認大会及び公式大会で以下のカードの使用を制限させていただきます。

《禁止カード》

以下のカードは1枚もデッキに入れる事ができません。

6-028 一乗谷城

BTL2-109 平家に非ずんば人に非ず

SP1-042 甘寧

《制限カード》

以下のカードはデッキに1枚までしか入れる事ができません。

5-050 毛利元就

6-029 本能寺

6-053 加藤清正

7-093 川越城

7-094 今川館

BTL2-077 孫堅

SP1-030 麒麟児の誓

SP1-039 周泰

SP1-045 二喬の演武

■大会開催形式

公認大会におきましては、以下の大会開催形式を推奨しています。

(※開催形式につきましては、各開催店舗様にお問い合わせ下さい)

《トーナメント方式》

試合に敗北したプレイヤーが大会から脱落していく、勝ち残り方式の大会開催形式です。

《スイスドロー方式》

試合の結果に関わらず全てのプレイヤーは、あらかじめ定められた回戦数の試合を行う大会開催形式です。

【スイスドロー方式における試合結果の点数について】

プレイヤーは各試合の勝敗結果に応じた点数を獲得します。各プレイヤーごとに獲得した点数を累計し、各回戦ごとに「累計点数が近いもの同士」で対戦相手が決定されます。

- ・勝ち … 3点
- ・引き分け … 1点
- ・負け … 0点

【参加者数と回戦数の内訳】

- ・ 2名 …………… 1回戦
- ・ 3名 …………… 2回戦
- ・ 4～8名 ……… 3回戦
- ・ 9～16名 …… 4回戦
- ・ 17～32名 … 5回戦
- ・ 33～64名 … 6回戦

(※回戦数は参加人数や各開催ごとに異なる可能性がありますので、各開催店舗様にお問い合わせ下さい)

■試合形式

公認大会におきましては、以下の試合形式を推奨しています。

- ・ 1試合 制限時間30分 1本勝負

(※制限時間を越えた場合、このターンに引き続き、次のターンを終えるまで試合を続けます)

(※勝敗がつかなかった場合は、残り城壁の枚数が多いプレイヤーの勝ちとします)

(※トーナメント形式において残り城壁の枚数が同じ場合、ジャンケンで勝敗を決します)

(※同一大会中にデッキ内容の変更を行うことはできません)

(※運営状況によって各開催ごとに異なる可能性がありますので、各開催店舗様へお問い合わせ下さい)

■賞品

公認大会では参加者全員に参加賞 PR カードが配布されます。

- ・参加賞 ……参加賞 PR カード 1 枚

(※大会参加希望者が 1 名のみだった場合、賞品の扱いは各開催店舗様の裁量に委ねられます)

■その他細則

《ジャッジ》

- ・試合はお互いのプレイヤーによるセルフジャッジによって進行します。
- ・大会参加者同士でルール解釈に相違が生じたり、ルール上できない行動を誤って行ってしまうたりした場合、一旦対戦を止めて、審判を呼び、状況の確認をしてください。試合を止めずにそのまま進めて巻き戻し不可能な状態になってしまったり、試合後に誤った行動を指摘したりするなど、状況確認が実質的に行えない状態になってしまった場合、基本的に結果は覆しません。
- ・審判の下した裁定や最終判断は、その大会において覆ることはありません。

《ペナルティ裁定》

以下の行為は違反となり、審判はプレイヤーに対してペナルティ裁定を与えることができます。なお、ペナルティ裁定は審判が違反内容、状況を十分に考慮したものが下されます。

- ・ルールやレギュレーションを故意または過失に違反したとき
- ・過度のマナーに反する行動、非紳士的な行動をおこなったとき
- ・結果の改ざんや助言を行うなどの不正をおこなったとき
- ・故意に遅延を行うなど審判が違反と判断した行為をおこなったとき
- ・金品のやりとりなどによってゲームのルール以外で勝敗を操作したとき

《裁定について》

大会中に与えられたペナルティ裁定を含むジャッジの下した最終判断は、その大会にのみ

適用されるものです。

原則として他の公認・公式大会には影響しません。

《故意の遅延行為》

試合中、意図的に時間切れを狙うなど、必要以上に時間を消費することで有利を得ようとする「故意の遅延行為」を禁じています。大会参加者は、制限時間内に勝敗の決着をつけるよう心掛けてください。

《マーキング》

特定のカードを判別可能な状態にする「マーキング」を禁じています。大会参加者は、以下の事項を守る必要があります。

- ・試合中、山札にあるカードの上下を統一させる。
- ・カードをスリーブに入れる場合は、カードの上下を統一させる。
- ・デッキは特定のカードが判別可能な状態にならないよう心掛ける。
- ・サインなどによってカードテキストが読めないカードを使用する場合は、あらかじめ対戦相手に申告し、そのカードと同一のカードを用意し、テキストの確認がいつでもできる状態にしておく必要がある。

(※一部のカードやスリーブの裏面に印やキズをつける行為などは違反となります)

(※一部のカードを過度に反らせる行為などは違反となります)

(※多重スリーブについては、カードテキストが読めないなど試合進行の妨げにならないようにしてください)

《大会参加者のマナー》

大会参加者は以下の事項を守るよう心掛けてください。

- ・決して自分本位で考えず、紳士的な態度で他の大会参加者に接してください。
- ・事前にルールとレギュレーションを確認し、スムーズに試合が行えるようにしてください。
- ・試合前には「お願いします」、試合後には「ありがとうございました」の挨拶をしましょう。
- ・試合中に対戦相手以外の大会参加者や観戦者と情報の交換や会話をしてはいけません。
- ・試合中のプレイヤーに会話や動作によって、プレイに影響する外部情報や助言を与えないでください。
- ・試合中に携帯電話などの電子機器の閲覧、および、使用はできません。
(※止むを得ない場合は、対戦相手に伝えた上で審判を呼び、審判の判断を仰いでください)

- ・トイレや用事などは大会前や休憩中に済ませておきましょう。
(※止むを得ない場合は、対戦相手に伝えた上で審判を呼び、審判の判断を仰いでください)
- ・対戦相手を罵倒したり、挑発したりするような言動や行動はしないでください。

《観戦者のマナー》

大会観戦者は以下の事項を守るよう心掛けてください。

- ・観戦者は大会運営の妨げにならないよう、審判の指示に従ってください。
- ・観戦中に不正行為、ルールやレギュレーションに違反する行為などを発見した場合は、直接指摘せず、審判を呼び報告してください。
- ・試合中のプレイヤーに会話や動作によって、プレイに影響する外部情報や助言を与えないでください。